

News Release

2017年8月18日
日立アジア社

セントーサ島セキュリティソリューションシステム実証実験の第1フェーズを完了

株式会社日立製作所(執行役社長兼 CEO: 東原 敏昭/以下、日立)の東南アジアにおける地域統括会社である日立アジア社(取締役社長: 堀内 浩祐/以下、日立アジア)は、このたび、株式会社日立国際電気(執行役社長: 佐久間 嘉一郎)、株式会社日立製作所の研究開発グループとの連携のもと、シンガポールの重要な観光拠点であるセントーサ島における、セキュリティソリューションシステムの実証実験について第1フェーズを完了しました。今回の第1フェーズでは、海洋や島内における不審物の発見に関する実証実験を行い、90%以上の高い確率で発見することができるなど、大きな成果を収めることができました。本プロジェクトはシンガポール経済開発庁(Singapore Economic Development Board)および内務省(Ministry of Home Affairs)が進めている「Safety & Security Industry Programme 2020 (SSIP)」の一環であり、シンガポールをASEANにおける安心・安全な社会を実現するリーディングカントリーとして発展させていくことを目的にしたものです。

日立アジアは、日立のフィジカルセキュリティ統合プラットフォームをベースとした、インテリジェント映像解析ソリューションとマルチパースペクティブサーチテクノロジーを活用し、セントーサ島で11カ月にわたる実証を行いました。日立の高感度監視カメラを活用した実証実験は、SSIP事務局が設定した2つの課題の解決をめざして行ったものです。ひとつめの課題は、セントーサ島の海上から海岸に接近する不審物を検知し、上陸前に警報を発することで、海岸線の安心・安全を確保することで、もうひとつの課題は、島内の公共エリアにおいて、置き去りにされた不審物や不審人物を特定し、追跡することです。

実証実験では、日立の最先端の映像解析ソフトウェアをセントーサ島の既存のセキュリティインフラに適用し、海からの侵入者や公共エリアにおける放置物のリアルタイムなモニタリング、異常を検知した際の警告発信の実証を行いました。例えば自動警報が、島内全域を監視するコマンドセンターや警備員に、場合によっては一般客に対しても発信されます。このシステムを活用することにより、従来の監視システムに比べ、リスクへの初期動作にかかる時間を短縮するとともに、より効率的な監視を行うことができるようになります。また、このシステムで集めたデータを解析することにより、不審人物の来島履歴のトレースや、商業目的での人流解析なども可能です。

シンガポールは、世界的にもっとも安全な国のひとつとされていますが、世界的あるいはASEAN地域においても増大するセキュリティリスクへの備えを強化していくことは重要な課題であり、シンガポール政府としても安心・安全な社会の実現に向けた取り組みを継続的に実施しています。本プロジェクトは、こうした取り組みの一環として、2015年にSSIP事務局が公募・採択したものであり、例えば警察や市民防衛などにおけるセキュリティ強化に活用していくことを目的としています。

シンガポール内務省Ops-Tech GroupのシニアディレクターであるNg Yeow Boon氏は、「わが国の

安心・安全に関わる担当部門は常に、新たな技術、イノベーションを活用していきたいと考えている。SSIPを活用したイノベティブなソリューションの実証実験は、そのための有効な基盤であり、これからも多くのソリューションプロバイダーとのコラボレーションを通じて、さらに安心・安全な社会の実現に努めていきたい」と語っています。

日立アジア社取締役社長の堀内浩祐は、「セキュリティソリューションは、日立が進める社会イノベーション事業の中でも特に重要な分野のひとつです。日立はサイバーセキュリティからフィジカルセキュリティにいたる幅広い領域にむけたソリューションを提供することが可能です。最先端のインフラ技術とITを組み合わせることによって、シンガポールにおけるセキュリティレベルの向上に、日立は貢献していくことができると確信しています。日立は、シンガポール政府および関係機関との協創によって、シンガポールをより安心・安全な社会にしていくために貢献していきます」と述べています。

日立は、本プロジェクトの成功を踏まえシンガポールのセキュリティシステムのさらなる発展に向け、引き続き貢献していきます。

■ 実証実験の様子(インタフェース画面)



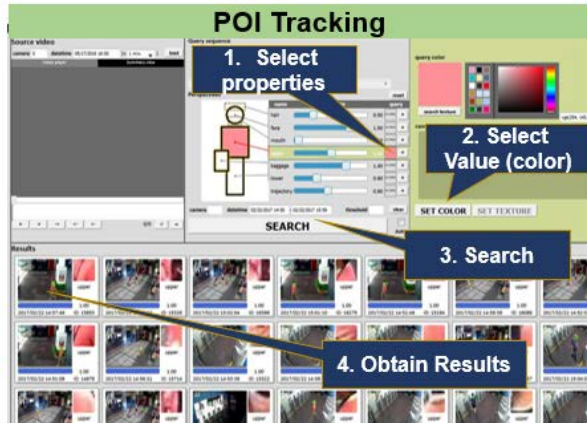
Reach out to public / Alert

SSIP Stage1: Reaching Out to the Public

Unattended Object Records

Inhibit	Date	Time	Camera ID	Location ID	Upper Left		Upper Right		Lower Left		Lower Right	
					X	Y	X	Y	X	Y	X	Y
<input type="checkbox"/>	04-04-2017	03:47:33	CCTV-L1-28-Fixed	BeachStation	924	272	1002	272	924	344	1002	344
<input type="checkbox"/>	04-04-2017	03:47:31	CCTV-L1-28-Fixed	BeachStation	1008	272	1134	272	1008	371	1134	371
<input type="checkbox"/>	04-04-2017	03:44:28	CCTV-L1-28-Fixed	BeachStation	878	371	918	371	878	402	918	402
<input type="checkbox"/>	04-04-2017	03:44:22	CCTV-L1-28-Fixed	BeachStation	960	339	1017	339	960	422	1017	422
<input type="checkbox"/>	04-04-2017	03:41:47	CCTV-L1-28-Fixed	BeachStation	990	430	1026	430	990	427	1026	427
<input type="checkbox"/>	04-04-2017	03:38:45	CCTV-L1-28-Fixed	BeachStation	990	369	1029	369	990	427	1029	427
<input type="checkbox"/>	04-04-2017	03:36:42	CCTV-L1-28-Fixed	BeachStation	966	386	1044	386	966	449	1044	449
<input type="checkbox"/>	04-04-2017	03:33:13	CCTV-L1-28-Fixed	BeachStation	1020	353	1077	353	1020	402	1077	402
<input type="checkbox"/>	04-04-2017	03:30:00	CCTV-L1-28-Fixed	BeachStation	1003	373	1080	373	1003	433	1080	433

Labels: Data/Time, Camera ID, Location, Detection Box



■アーバンソリューションビジネスユニットの Web サイト

<http://urban.ext.hitachi.co.jp/>

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社日立製作所 アーバンソリューションビジネスユニット

ビル街区ソリューション本部 [担当:高津]

〒108-8250 東京都港区港南二丁目 18 番 1 号(JR 品川イーストビル)

電話:03-5471-4726(直通)

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
